

<主な展示資料>

『わが子に伝えたい昭和の体験記録』、自由画、小張丸吉氏画帳(アルバム)、文集『きたかみ』、新聞記事、文集『学童疎開』 個人蔵/『うちに帰りたい!』原画 全国疎開学童連絡協議会 ほか

※いずれも個人蔵

●収蔵品展示『旅情・絵葉書展 Part1』

平成 21 年 3 月 3 日(火)～6 月 21 日 (日)

入館者数 4,130 名

大正時代からの貴重な絵葉書から主に東北 6 県のものを取り上げ、絵はがきで観光地を楽しめるように構成して紹介した。

<主な展示資料>

盛岡市本町郷土詩社発行絵はがき、「仙台名所」絵はがき、「金華山」絵はがき、「日本三景＝天然画松島」絵はがき、「栗原郡岩ヶ崎」絵はがき、「登米郡大嶽山」絵はがき、米谷町銃後會慰問部発行絵はがき ほか

平成 21 年度

●企画展示『文様の世界Ⅱ－染型紙の美－』

平成 21 年 6 月 27 日(土)～7 月 20 日 (月)

入館者数 679 名

登米市中田町で染屋を営んでいた方が保管していた染め型紙から、約 60 点を文様別に展示し、そこに表現された文様の意味を紹介した。

<主な展示資料>

型紙(「鯉の滝登り」「成瓢」「蝶」「紋入り亀甲」「霞に蝙蝠」「松竹梅」「行儀」「鮫小紋」「十字餅」 ほか)

※いずれも個人蔵

●企画展示『鉄道とくらし2 仙北鐵道がゆく－駅舎と車両と－』

平成 21 年 8 月 1 日 (土) ～11 月 21 日 (土)

入館者数 5,033 名

平成 20 年から 21 年にかけて解体された仙北鐵道登米駅舎。その際の調査で得た資料の公開を目的として展示した。

<主な展示資料>

仙北鐵道開通記念アルバム(T10)・記念写真帳(S3)・仙北鐵道閉業式典ビデオテープ・アルバム・鉄道ビクトリアル・仙北会報・仙鉄50年のあゆみ・宮城の鐵道・創立記念看板・レール・鉄・電車表示・行き先表示・ベル・フライ旗・腕章・カンテラ・鉄製社章・開業記念宮城バス掛物・閉塞機・閉塞表示板・一時預かり切符(個人蔵)/車両竣工図表(当館所蔵) ほか

～展示会まとめ～

展示会はすべて学芸員の調査などを基にした自主企画による。平成 15 年度頃から利用者のニーズを把握するため、毎年、年に数回異なる内容のアンケートを設け、その集計から展示や事業を計画してきた。展示会は年に3回程度。そのうちの一つをできるだけ利用者の声を反映させる内容に配慮している。

しかし、近年では学芸員数の削減により年数回の自主企画には限界があり、内容の希薄さや展示不備にならないような配慮が必要とされている。調査研究には半年以上も時間を費やさなければならず、今後は一層、他団体や有識者から調査や研究・企画などの協力を得て展示を作ることも考慮されなければならない。

4、教育普及事業

■当館主催による講座・イベント部門■

<平成 12 年度>

開館年度の平成 12 年度はオープニング企画としての講座のみを開催した。博物館の周辺史跡をめぐるクイズラリーは小学生に人気であった。

関連行事	講師	開催日程	参加人数
開館記念講演「独眼流政宗の素顔」	伊達家十八代当主 伊達 泰宗氏	H12.11.2	417
勾玉づくり体験コーナー	当館学芸員	H12.11.3	60
博物館クイズラリー	当館学芸員	H12.10.28～11.3	103

<平成 13 年度>

企画展示と連携した事業の他、お月見会、伊達之連との共催事業、夏休みの講座としての土器作り教室などを行った。

関連行事	講師	開催日程	参加人数
仙台開府 400 年記念 香道の会	香道御家流・篠流、伊達之連	H13.6.17	55
第 1 回 土器作り教室	当館学芸員	H13.7.25	31
第 2 回 土器作り教室	当館学芸員	H13.8.18	20
第 3 回 土器作り教室	当館学芸員	H13.8.25	25
白石和紙実演会としおり作り体験会	白石和紙工房、佐藤忠太郎工房、伊達之連	H13.10.21	10
講演会 片倉小十郎と真田幸村 ～縁の不思議～	片倉家第 16 代当主 片倉重信氏	H13.10.26	107
博物館 お月見と篠笛の演奏会	演奏 山口流篠笛	H13.10.2	28

<平成 14 年度>

企画展示の内容を理解してもらうために、展示と連携する講演会を設けて開催した。「ねり香」の体験講座は珍しさもあって参加者が多かった。

関連行事	講師	開催日程	参加人数
講演会「くらしの中のカミサマ」	仏師 小野寺峻氏	H14.7.28	36
新田公民館連携 土器作り	当館学芸員	H14.7.30	25
カマガミづくり	当館学芸員	H14.8.4	10
博物館講座「ねり香の会」	松栄堂(京都) 畑和憲氏	H14.10.5～6	60
お月見会「尺八と和琴の演奏会」	佐藤皖山氏 ほか	H14.10.19	93
講演会 「今はなき仙北鐵道をめぐって」	吉岡一男氏	H14.12.15	150

6、利用状況

■10年間の利用者数■

年度	年間利用者数	1日平均	備考	開館日数
12	5,799名	46名	開館年	125日
13	5,901名	20名		301日
14	5,347名	18名		299日
15	6,585名	22名		302日
16	7,248名	25名		293日
17	7,284名	25名	合併年	295日
18	9,991名	34名		293日
19	9,771名	34名		287日
20	8,261名	30名		279日
21	10,571名	38名		278日

■展示会入館者数■

年度	展示会名称	会期	日数	人数
12	開館記念特別展 「武家の世界・亙理家宝物展—戦国の世と太平の世の中で—」	H12.10.18～13.1.30	80	1,800
	企画展「わが家の宝物展 日本画展」	H13.3.1～5.31	78	1,730
13	企画展「佐沼城三の丸跡」	H13.7.1～9.30	78	1,416
	企画展 「片倉小十郎の遺産—白石和紙 紙布・紙衣・紙摺り工芸品—」	H13.10.5～11.25	45	1,053
	企画展「わが家の宝物展 刀剣の美」	H13.12.4～H14.1.31	46	1,062
	企画展「仙台四大画家展」	H14.3.1～5.26	158	1,544
14	収蔵展「本いろいろ」	H14.6.4～6.30	24	258
	特別展「生活の中のカミサマ」開催	H14.7.16～9.16	55	1,030
	企画展「わが家の逸品 新田地区」	H14.10.1～11.24	48	874
	企画展「鉄道と暮らし～仙北鐵道がゆく～」	H14.12.6～H15.2.11	53	1,708
	雛人形展	H15.3.1～5.26	74	1,250
15	特別展「時代の装い—装身具にみる心とかたち—」	H15.4.25～6.29	57	1,251
	特別展「苦難の時代—かえりみる郷土の戦中戦後—」	H15.8.1～11.3	82	2,525
	企画展「郷土の歴史探訪 北方地区」	H15.12.6～H16.2.29	69	1,045
	企画展「小さな浮世絵展」 雛人形展(旧亙理邸)	H16.3.12～5.9	51	2,126
16	H15(巡回展・県文財) 宮城の発掘調査パネル展	H16.5.29～6.27	26	614

年度	展示会名称	会期	日数	人数
16	近代化の幕開け【第1部】—登米地方の明治時代—	H16.7.16～9.12	52	1,191
	近代化の幕開け【第2部】—登米地方の明治時代—	H16.9.18～11.28	62	1,559
	恩田とき子人形作品展 前半	H17.1.7～3.27	69	2,798
17	恩田とき子人形作品展 後半	H17.4.8～5.29	45	
	企画展「～発掘された登米市～坂戸遺跡調査成果報告」	H17.7.8～9.25	68	1,470
	企画展「登米市むかしの暮らし① 水と生きる」	H17.10.8～11.23	40	1,517
	特別展「伝える・伝わる 第I部 —消えゆく昭和の風景—」	H18.1.14～3.5	44	1,268
18	特別展「伝える・伝わる 第II部—登米市に残る美術品展—」	H18.3.14～5.7	59	1,856
	企画展「登米市に伝わる街頭紙芝居展」	H18.7.15～8.25	36	1,274
	企画展「広報誌にみる暮らし —昭和の写真展—」	H18.11.22～H19.1.28	54	958
	企画展「佐沼亙理家 250年記念展 I 雛人形展」	H19.2.2～3.18	39	2,386
19	恩田とき子人形展「物語の主人公とふるさと」	H19.4.27～7.8	63	3,276
	佐沼亙理家 250年記念 II「佐沼亙理家伝来資料展」	H19.9.22～11.4	38	1,902
20	収蔵展「文様の世界～暮らしの中の美～」	H20.2.9～5.11	80	2,632
	和の楽しみ展 IN旧亙理邸	H20.4.12～4.29	15	1,166
	企画展「明治を生きた人々—偉人と郷土の出来事あれこれ—」	H20.6.21～8.24	56	1,586
	企画展「語り継ぐ登米市の学童疎開」	H20.10.11～11.30	44	1,760
21	収蔵展「旅情・絵葉書展part1」	H20.3.3～6.21	97	4,130
	企画展「文様の世界 II—染型紙の美—」	H21.6.27～7.20	21	679
	企画展「鉄道と暮らし2 仙北鐵道がゆく—駅舎と車輛と—」	H21.8.1～11.21	97	5,033

■館務実習■

年度	受入期間	大学名	人数
13	1月31日～2月4日	東北生活文化大学	2
	7月31日～8月5日	盛岡大学	1
14	8月2日～8日	東北学院大学	1
	9月13日～19日	盛岡大学 東北芸術工科大学	2
15	8月5日～10日	東北学院大学	3
16	8月3日～8日	東北学院大学(3) 東北生活文化大学 東北芸術工科大学	5
17	8月2日～6日	東北学院大学	1
18	8月1日～5日	東北学院大学	2
	9月26日～30日	札幌学院大学	1
19	8月21日～25日	宮城学院女子大学 東北生活文化大学	2
20	8月19日～23日	宮城学院女子大学 東北学院大学 東北生活文化大学	3
21	8月18日～22日	東北学院大学 東北生活文化大学 山形県立米沢女子短期大学	3